

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

陶磁器館

やきものの見方



「色絵荒磯文皿」

1700-40年代（元禄様式）

“やきもの”とは、土をこねて形を作り、焼き固めたものを言います。日用品として誕生したやきものは、文明の発達とともに技術も進歩し、機能が向上していきました。同時に美しさも追及され、美術品としても愛される存在となりました。

当館では、伊万里焼を中心に多様なやきものを所蔵し、さまざまな視点から展覧会を開催してまいりました。そんな中で「やきものに興味はあるけど、どう見たらいいの？」というお声を聞くことがあります。この度は、そんな思いをお持ちの方々に向け、やきものの鑑賞をサポートするための、やきものの種類や、陶器と磁器の見分け方、やきものの歴史や作り方など見どころを、所蔵品を見ながらご紹介します。

朝鮮通信使資料館 御馳走一番館

朝鮮通信使を めぐる人々



「三之瀬古地図」

慶長12年(1607)～文化8年(1811)の間に12回来日した朝鮮通信使は約400～500名で構成され、江戸まで旅をし、道中には接待所がもうけられました。広島藩では藩の威信をかけ、他藩に負けないよう盛大なもてなしをし、日本の各地の接待の様子を尋ねられた対馬藩主が「安芸蒲刈御馳走一番」と評したと記録にのこっています。

また、通信使には朝鮮を代表する知識人が選ばれており、日本の知識人たちとさまざまなかたちで交流し、日本の文化に大きな影響を与えました。

本展では、朝鮮通信使来日をめぐる関わりをもった人々との交流のエピソードをご紹介します。



あかりの館

山口県上関から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



蒲刈島御番所

江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を上関に現存している建物を参考に復元しています。

近代日本画壇の名品が、本格的木造建築の中鑑賞できます。

蘭島閣美術館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066

小高い丘の上に建つ、洋画家・寺内萬治郎の常設展示館。

蘭島閣美術館別館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500

京都洋画壇の巨匠、須田国太郎の常設展示館。

三之瀬御本陣芸術文化館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088

4/20(水)～6/20(月)

『色をたのしむ展覧会』

4/6(水)～7/4(月)

所蔵品への視点シリーズ・5
『描かれた女性たち』

4/27(水)～6/6(月)

『須田国太郎と
独立美術協会の仲間たち』

松濤園
facebook



展示やイベント情報など、随時更新♪

QRコードをスキャンまたは、
下記アドレスより facebook ページへアクセス!

<https://www.facebook.com/shoutouen/> 🔍 検索

◆交通 Access

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈!
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL.0823-23-7845 まで。

🚌 広島市内からバス

広島バスセンターから、さんようバス株式会社運行のバス「蒲刈・豊浜・豊」行きに乗車。下蒲刈町内の「見戸代棧橋」停留所で、接続するバスに乗り「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。

🚆 呉から電車とバス

JR呉線で広島駅または仁方駅下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・宮農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。(バスは上下とも1時間に1本ほど運行しています。)



新型コロナウイルス感染予防のためのお客様へのお願い

- 発熱や軽度であっても咳・のどの痛みなどの症状がある場合には、ご来館をお控えください。
- 入館時の検温にご協力ください。 ●ご入館の際は、マスクの着用をお願いします。 ●アルコール消毒液での手指の消毒をお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館する場合があります。ホームページ等で最新の情報をご確認のうえ、ご来館ください。

(お問い合わせ TEL:0823-65-2900 URL: <http://www.shimokamagari.jp/>)